

# 受賞コメント



## 🏆 優秀賞

### 『ありがとうお父さん』

晋 玉成

■国 籍:中 国

■入 国 日:2013年4月16日

#### ★受賞した今の気持ち

私の作文が賞をいただいてとても嬉しいです。

#### ★この題材を選んだ理由

今、日本にもう3年間いるので、両親にも3年ぐらい会ってない気持ちで考えて題材を選びました。

#### ★これからの目標・夢

日本に来る夢は叶いました。中国に帰って日本のような工場をやってみたい。

日本に来てよかったです。みなさん、ありがとうございます。

#### ＜受入れ企業様からのコメント＞

受賞おめでとうございます。工場の皆を代表として一言コメントを書かせて頂きます。工場の皆は晋ちゃんの事を母の気持ちやお姉さんの気持ちで接してきましたが、三年間、立派に仕事をなしとげ、最後にすばらしい賞を取り涙が出るくらい嬉しいです。

いずれあなたも父となる時に作文の内容の様な「お父さん」になる事と思います。すぐそばに【見本】となるお父さんが居る事をすばらしい事だと思って今後生きて下さい。自分の子供が生まれた時にその子供にすばらしいお父さんだと思われる様に・・・

工場の皆は見守っています。 「受賞おめでとう」

(記入者：(個人名)

様)

でれだけの方が父親という言葉の意味を本  
当に理解しているのか？でれだけの方が父親  
の言葉の価値変わってきているのか？そして、  
でれだけの方が父親の言葉といくらかの悲し  
みや愛が含んでいることを理解しているのか  
？これは、おそらく父親もなってこそ初めて  
わかることなのかもしれません。

20年という長い歳月はゆ、くりと流れてい  
きました。それは、知らず知らずのうちに静  
かに流れ去り、触れることも見ることもでき  
ません。20年を振り返れば、思い出は目とほ  
んやり映り、けれど、心は温かいものが流れ  
ます。そして、いつか父親も守られていたよ  
うに、私は思えるのです。

私の父はとてもハンサムと言えませんが、  
私にとっては何れも負けなれない父親です。46年  
の歳月が流れ、ほ、そりとした体にはいろい  
ろな痕が刻まれています。奥ま、た目には、  
無限の光を映しており、見たところい、そう  
活力があるように感じます。真、白々な、た

髪のもや、褐色の肌は、46年の歳月がくれた

父へのプレゼントなのかもしれない。

私は一番下子です。だから、家では宝物で

す。そのため、父はどんな時も、私から何か

を求めることはありません。小さい時から今

まで、精一杯の愛で私を可愛がってしてくれまし

た。

私が幼い頃暮らし向きは豊かでは無かった

我が家。そんな家庭を父一人が支えてくれまし

た。その責任はどれだけ重か、大ことでし

よう。毎日、目が覚めると、父はすでに仕事

に出掛けています。帰って来るまで姿を見る

ことはありません。毎日毎日、頑強ってくれ

ました。それでも、父の口から不満を聞いた

ことは一度もありません。いつも笑顔でした

。父の努力の下、私達はしっかりと持家を手白す

ることができました。大きくなく、派手でも

なく、シンプルではあるけれど、父が働いて

手白した家で、私達にとって正真正銘の“

愛の家”です。父は話してくれました。「私

は、夫として父親として責任を果たしている  
だけだよ」と。

2013年、大人もな。た私は、3年間の  
日本での技能実習への参加を決めました。父  
に伝えると、突然寡黙になりました。き、と  
反対なんだと思いました。溜息をついた後  
、「晋玉成は大きくなった。これからまだは  
ばたける羽がある。遠くで自分を磨くことは  
本当の成長となり、私達からの自立となるだ  
ろう。支持するよ」と言ってくれたのです。  
その目は潤んでいました。

父の言葉を胸に、私は今、充実した日々を  
過ごしています。仕事や異な、た生活に、努  
力は必要ですが、父の期待は裏切らないつも  
りです。「お父さん、安心して下さい。私は  
お父さんの愛を守られて、幸せも暮らしてい  
ます。今まで育ててくれたお礼に、帰ったら  
親孝行たくさんするからね。今度は私がお父  
さんを守るからね。」